

花嫁の朝 松下幹生

土間にしゃがんだ 母の顔
竈の灯り 照らし出す
頬に一筋 涙がつたう
娘の嫁入り 朝の事
夜明け前から せつせと動き
寂しく思う 暇もなく
寂しく思う 素振りも見せず
出来る事なら 母の背に
すがり付きたい 私です

火鉢の前に 父が居る
キセルの煙 既に消え
思い出の中 ページを捲る
娘の嫁入り 朝の事
昨夜はととも 眠りに付けず
寂しく思う 手酌酒
寂しく思い 打ち掛けを見る
感謝の気持ち 父の背に
声を掛けたい 私です

娘の嫁入り 朝の事
家族の気持ち 心に染みて
寂しく思う いろり端
寂しく咲いた 庭の梅の木
花嫁衣装 着る時に
名残を惜しむ 私です